

KU WanderVogel

名峰白山
南竜ヶ馬場

2014 年
7/28~7/30

ヤマジイージ 元気はつらつ 名峰白山を歩む

ヒント 《昭和 21 年生れが最も若い。10 名の高齢者グループ》

このヒントから、何を想像しますか。

- ー 町内会の敬老会に招かれたおじいちゃん・おばあちゃん
 - ー デイサービスの送迎バスで静かにしている要介護者
- と、答えるのが一般的な解答かな。でも今回に限っては、的外れ。

正解は、《白山を元気に登る KUWV・OB グループ》

名峰白山の登山道を、立派な登山靴をはき、カラフルな最近のザックを背負い（キスリングではありません）、全員が整然と統制のとれた隊列を組み、元気に歩く山仲間グループだ。その後姿は、日頃から訓練されたどこかの現役山岳会を思わせる。

ザックをおろし、腰を下ろし、水で一息つく顔を覗き込むと、その正体はヤマジイージ（山爺）。この顔は、町内会の敬老会やデイサービスのバスの中でも似合う年代。だが実態は、《元気はつらつのヤマジイージ集団》だ。

彼らを正面からとらえた写真（下）で見れば、50 年前の紅顔の美少年達も、白山のハイマツのように、永年の風雪に耐えた顔つきに変貌しているね（正しくは、成長しているね）。

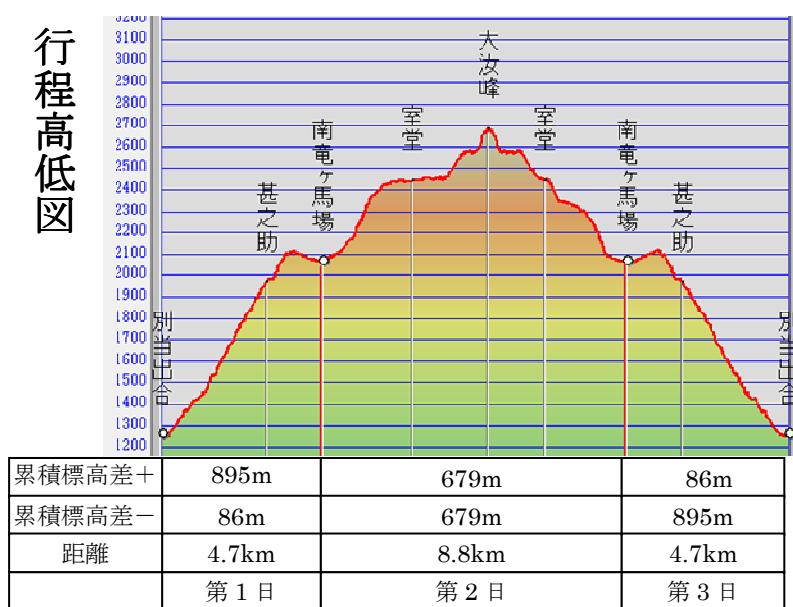


室堂と別山



ウツ 7.28 at 南竜

行程高低図



右の写真は、最終日の下山途中で撮ったもの。みなさん、天気にも恵まれ、3日間の白山南竜 PW を十分に楽しみ、満足した感じだ。

その楽しかった PW の様子を次ページ以降に記載。その状況が的確に伝えられるかどうか心配だ。

満足な顔で下山



行程概略

7月 28 日 (月) 晴

別当出合→南竜ヶ馬場 (泊)

- 各自自由に南竜に集合
- ①午前派：合津・山村
伊藤・白井
- ②午後派：穴田・伊豫
吉田・島林・鍋島

7月 29 日 (火) 晴

ワンデーリング (自由行動)

- 各自が希望コースを設定選択
- 3 グループに分かれる

①大汝組 (早出組)
山村 鍋島②大汝組 残り全員
③別山組 島林

- 吉田下山 山中合流

7月 30 日 (水) 晴

南竜ヶ馬場→別当出合

全員一緒に下山

参加者 10 名

(敬称略)

(前頁写真 前列左から)

- 伊藤俊成 9 期
(PW 幹事長)
- 島林仁司 10 期
- 山村嘉一 8 期
- 合津 尚 6 期
(前頁写真 後列左から)
- 穴田昭一 8 期
- 鍋島 武 9 期
(記録・報告担当)
- 白井 勇 9 期
- 伊豫欣二 8 期
- 山中重夫 9 期
(前頁写真 右窓)
- 吉田幸造 9 期

写真提供者 (敬称略)

山村嘉一 穴田昭一
伊藤俊成 島林仁司 鍋島武

誠に貴重な写真をご提供いただき、感謝申し上げます。写真一枚に、撮影者を明記すべきですが、ご容赦願います。

第 1 幕

見上げてごらん 夜の星を



「あつ 流れ星だ」

「あれが北斗七星」

「天の川を見るのも久しぶりだ」

「北斗七星のひしやくの先端部分の長さの 5 倍くらい先に、北極星が見つかるよ」

「こんな素晴らしい星空は、いつ以来からだろうかな」

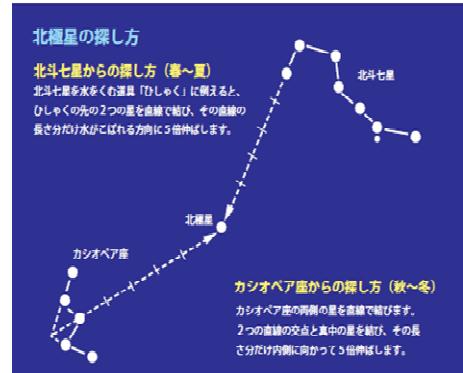
南竜馬場ヶ原の夜は足元を照らすものもなく真暗闇。わずかに吹いている風音以外は何も聞こえず、まさに静寂の世界。

眼を空に転ずれば、満天の星。

平素は野暮な KUWV/OB の山男達も、この南竜にたたずみ、星空を見上げれば、ロマンを感じずにはおれないであろう。この星空をじっと見上げていると、宇宙の彼方のずっとその先に、吸い込まれてしまうような気分になってしまう。



南竜ヶ馬場の夕焼け
この後、空に、満天の星が



大田原市天文館ホームページから

第 2 幕

迎えてごらん ご来光を



第二日目午前 3 時起床。昨晩、みんなで感動した満天の星空が今なお輝き続けている。ヘッドランプで足元を照らす男二人（山村、鍋島）。1 時間の急登の末、展望コースの尾根・アルプス展望台に到着。

山シャツの上に、フリースと更に防寒具を重ね、冷たい風を避けるためにハイマツの陰に身を寄せる（下界の猛暑は白山までは届かない）。

太陽が昇るはずの北アルプス方向は、雲に覆われている。北アルプスの展望は期待できない。ただその雲の上は、青空のようだ。ワクワクしながら、我が太陽が顔を出すのを待つ。

その雲が徐々に赤みがかってきた。間もなくだ。そして、遂に。

ご来光！

ああ 何と清々しい気分なのだろうか



日の出直後の荒島岳

第3幕

見つめてごらん白山の高山植物を

「名峰白山、何が素晴らしいか」
「そりや、花でしょう、高山植物の宝庫だよ」

展望コースを室堂に向けて歩く。

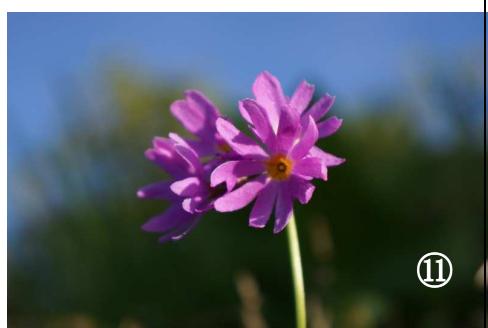
登山道の脇にカラマツソウ。左をむけば、朝日に踊るハクサンコザクラ。眼を前に向ければ、朝日に輝くクロユリ。きれいな花、かわいい花が、いきいきとした花が、次々に飛び込んでくる。

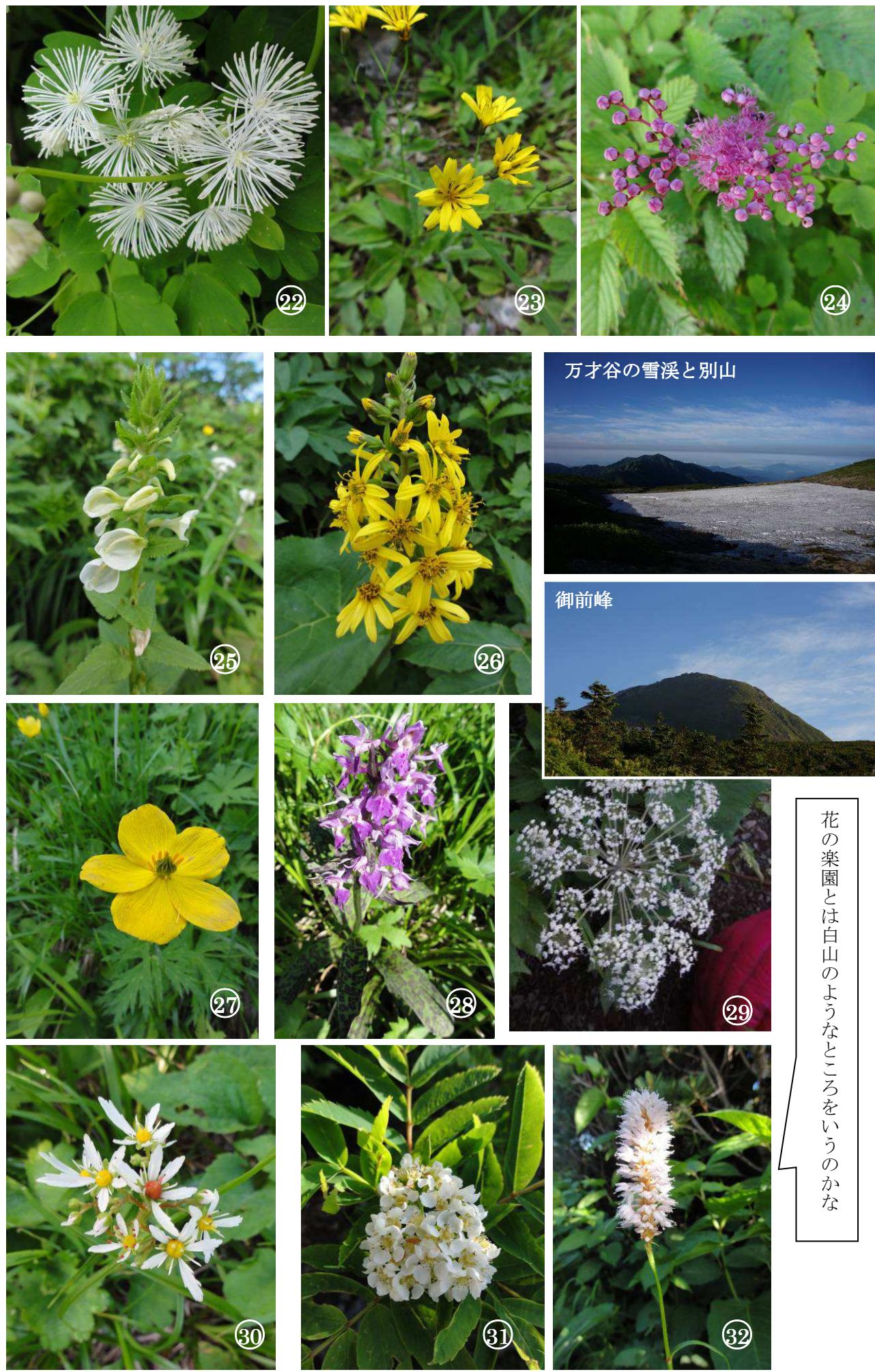
数株ずつ咲いているものもあれば、ハクサンコザクラの大群生もある。花を見つめ、花に見つめられ、「オオッ」「オオッ」と感嘆の声。

カメラマンの心は躍る。
パチリパチリ、シャッターを押す指がとどまることがない。

展望コースに限らず、白山はどこを散策しても花いっぱいの季節だった。







第4幕

登ってごらん 大汝峰を



百姓池と大汝峰



大汝峰



(大汝峰頂上から) ミドリヶ池 剣ヶ峰 御前峰

白山に行き頂上を目指す場合、足は自然と御前峰に向かう。白山の頂上=御前峰というのが一般的なイメージであろう。大賑わいの御前峰に比べれば、一緒に並んでいる大汝峰がちょっと可哀そう。

今回の PW 参加のメンバーも御前峰は何度も登っているが、隣の大汝峰への回数は少ない。…ということで、今回のメンバー

の足は自然と大汝峰方向に向かう。

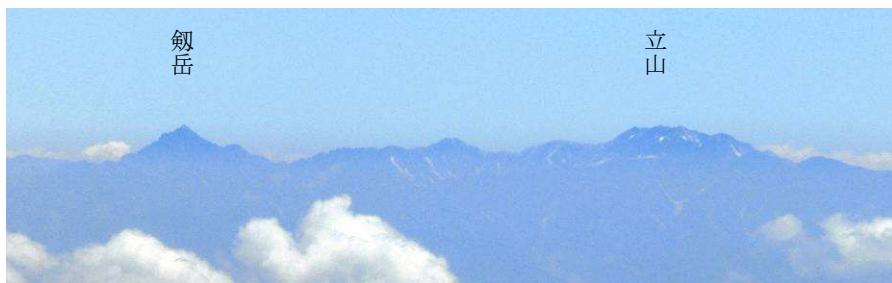
登ってみて感じたな。大汝峰って、良いじゃないか。頂上の大汝神社に静かに頭をたれ、人影も少ない広い頂上で、展望を堪能。

大汝に登ればこそ見ることができる絶景もある。それは上の写真の風景だ。

第5幕

堪能してごらん 北アルプス遠望を

大汝峰に向かって、最後の詰めをしている時に、山村さんが後を振り返って、「オオー」と歓声を上げた。北アルプスの遠望が見えたのだ。



ご来光の折、北アルプスは雲の下であった。今日は見えるとは思っていなかった。まさに突然の出会いだ。

乗鞍御岳も見えたぞ

北アルプスの遠望の更に右方向に、乗鞍岳、御岳も見ることができた。



第6幕

登ってごらん別山に

第二日目の行動は自由ワンデリング。結果的には、3 グループに分かれての行動（2 頁『行程概略』参照）。

その一つが、別山往復だ。メンバーは島林さんのみ。単独行だ。今シーズ ン既に白山登山を実行し、御前峰方面を歩いたとのことで、今回は、別山を選んだようだ。

彼の感想によれば、『別山最高！』とのことで、別山の虜になった模様だ。



別山平は
一面のニ
ッコウキ
スゲ



特別寄稿

都心頃は奨学金で今は金で山登り

今回も白山南竜 PW は、ほぼ平均 70 歳の高齢者ばかり。でも元気だよ。そう年寄り扱いをするなよ。

俺達も半世紀前は若かった。金大ワングル部所属。勉強もほどほどに、クラブ活動に熱中。日本育英会の貴重な奨学金を教科書代・参考書代ではなく、そのほとんどを山行き資金に投じてしまった輩だ。

サラリーマン時代は山も忘れ、心身を削りながら厳しい仕事とお酒に専念。ただ幸いなことに、定年退職時には、身体を壊していなかったこと、借金をしていなかったことが良かったな。

高齢者の仲間入りした彼は、今何をやっているのだろうか。貴重な年金を使って、再び山登りだ。

ある日の夕方、奥多摩の登山口（五日市駅/東京都）で、家路を急ぐワーキングウーマンが呟いている。

『あのおじさん達、下山して、一杯飲んだようね』

『悩みないのかな。楽しそうね』

『私達、忙しいのよ。遊ぶ時間もお金もないわ』

『私達、将来年金貰えるかしら』

現役組のそんな冷たい視線、思いも理解できないわけではない。ただ、俺達は登るぞ、続けるぞ。体そのものの健康もさることながら、ボケ防止には山登りが最適…と言訳を心に秘めながら。あと 10 年くらいは登りたいね。せめて東京オリンピック位までは登るぞ。その意味を込めて、東京五輪のマークをもじったのが、下のマークだ。

東京五輪の2020年も山登りだ

振り返ってみれば、前回の東京オリンピックの時（1964 年）は、ワングル 1 年生だった。次回東京オリンピックは、ワングル最終学年か…。



《マークにつき、少々解説》

- ① 槍ヶ岳から登る朝日（2012 年 8 月 8 日笠ヶ岳小屋）
- ② ワングルらしく「continue wandering」にしようと思ったが、認知症の徘徊（wander）のイメージに誤解されても困るので、やむなく「climbing」とした。

あるワンダラー Nabeshima の呟きでした。ご勘弁を。

第7幕



鍛え直してござらん 我が老体を

最高齢は合津さん。しかし肉体的には最も若い感じだ（頭脳・気力面もそうでしょう）。

頑健な合津リーダーが、花よ蝶よと育てられた貧弱な身体の新入部員を鍛えている…そんな50年前の新トレ風景を思いおこす場面が、今回の白山南竜 PW にも見られた。

(1) 休憩場所

新人：《この中飯場は休憩に最適の場だ。休憩だろうな》と心の中で期待。

合津：休憩の気配、全くなし。

新人の期待は見事に裏切られ、中飯場で休むこともなく通過だ。

(2) 休憩タイミング

新人：「熱中症対策にこまめに水が必要だ」と暗に休憩を催促する声を出す。

合津：「もっと先に、良い休憩所があるぞ」休憩も逸して、その先の万才沢まで進む。

合津さんは、今なおマラソン大会（フルマラソン、ウルトラマラソン）、テント泊の南アルプス縦走、農作業…をやっていらっしゃること。その所為か、いまだに若々しい。

俺も体づくりやるぞ

さて俺達も、健康寿命を一層継続するためにも、日常的に積極的に体つくりをしなければならないね。高齢者向けのラジオ体操、ストレッチ、頻繁な山歩き…。KUWV の現役時代に鍛えた財産（体力）は、サラリーマン時代に使いつくしているからね。

最長者の軽快な
ステップ！



第8幕



取り戻してござらん 山男の輝きを

砂防新道では、登り下りの登山者で一杯だ。狭い登山道なので、すれ違いのために道をお互いに譲り合う。

すれ違いの登山者を観察してみると

☆小さな子供連れ家族 ☆山ツアーグループ

☆山ガール達（年齢不詳）

☆夫婦（らしき）☆恋人達（らしき）

☆九州からのおばさん二人組

逆に我がパーティもしっかり観察されているようだ。心の中では次のように感じているのかも。失礼にも、正直に声を出して言う者もいる。

★ウワッ、男ばっかりのグループだ

★しかも高齢者軍団だ

★何のグループなのかな。不思議な人種だ

★ちょっと異様かもね

それにしても、山ガール（もどき）がもてはやされ、ヤマジィージはなぜ拍手されない。山男軍団は山に似合わない存在になってしまったのだろうか。輝きを失ったのだろうか。



ヤマジィージ自信を持って十分に輝いているよ

わが身を省みて、変えるべきところは変えるよ。ただ、半世紀も続く山男軍団だ。どのように観察されようが、我らは楽しい山仲間。この山男仲間はこの世から消失させないよ。来年もこの《ヤマジィージ》スタイルで、白山にやってくるぞ。

第9幕



見習つてごらん先輩のおもてなしを

昨年の PW 報告レポートにも記載したが、今年も同じような《もてなし》の構図が見てとれた。

①朝の目覚めのコーヒー、行動中のコーヒー、夜のミーティングでのコーヒー、②行動後のそうめん、③差入れのメロン…おもてなしをするのは、昨年同様先輩の方達だ（下の写真参照）。

若手の9期達は、今年も進歩はみられず、先輩に甘えるばかり。先輩に、ポンポンと何かと注文をつける。合津先輩から『そうめん』のおもてなし



休憩時間中も後輩達のために、おもてなし準備の二人（合津 伊豫）



しをいただいた時には、『薬味は…』とせがむ。厚かましい態度は相変わらずだ。

この際、報告レポートの紙面をお借りして、申し上げます。

「先輩のみなさん、ありがとうございます。心から感謝しています。尊敬しています」

「私達は、次々と減らず口をたたくばかりです。申し訳ありません。反省しています」

(追) 影の声

(先輩方) 9期奴らはいつも感謝・反省を連発するが、付きあって半世紀の間できなかつたことを今更期待できないね。

(9期生) そうですね。半世紀もお世話になっています。このまま後10年くらい、よろしくお願ひします。

美味しい食材を冷やすために、雪渓の雪を集め合津先輩。後輩達はただただポケットに手を突っ込み眺めるばかり。先輩の模範行動も後輩には手本にならず。

おもてなし講座『そうめん料理』を特訓受講中の若手。島林さんの言によれば、白井さんの手つきは相当なレベルらしい。老後の自活は心配いらないね。



伊豫先輩はいろんな場面でおもてなし精神を發揮。だから後輩からも親切にされるようだ。

第14期の仁藤さん（旧姓：矢津さん）から伊豫さんにメロンが差し入れられた。（左写真）

おもてなし NO1！この写真、ちょっとこわ面だが、本当はやさしい山男



（私達 食べる人）

美味しいメロンだ 仁藤さんありがとうございます

第10幕

覚えてごらん 白山の花の名を

「馬の名前も知らないで、馬券を買うな」「その馬に賭けるのなら、馬の名前くらい覚えろよ」…その昔、組合の多趣味の専従書記長が、馬の名も知らないで馬券を買いに行く若い組合員を叱っていましたね。

素晴らしい縦走路のお花畠で、「この花の名前、知っているか」と、よく聞かれるね。返事は「エーと」。

花の名、馬の名は知らないが

名前を知らなくても、きれいなものはきれい。名が分からなくても、縦走路の高山植物を見れば、心楽しくなるよ。感動もするよ。(馬の名前が分からなくても、勝ち馬の予想はできるよ。当たるよ。)

勝手な屁理屈をいうおじさんだが、勤めていた

頃は、お客様の名、顔…を必死に覚えたな。確実に覚えたよ。花名はダメだが。

さて、馬自身や花自身はどう思っているのだろう。

「精一杯は走っているのだよ、君の馬券が的中するように。せめて、俺の名前くらい覚えてよ」

「この短い夏の一時期だけ、一生懸命に咲いているのよ、あなたを励ますために、感動させるために。私の名前くらい覚えてよ」…と、馬や花が嘆いているよ。

馬にも花にも立派な名前があるよ。覚えてあげようぜ。年金おじさん達のボケ防止対策としても、すごく有効かも。(すぐに忘れると思うが。)

花に感謝して花の名前を見てみよう!

花の写真提供者のご協力でリスト作成

《花名リスト》(未完成版)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①カラマツソウ | ⑯ニッコウキスゲ |
| ②ハクサンコザクラ | ⑰ |
| ③クロユリ | ㉑ハクサンフウロウ |
| ④イワギキョウ | ㉒カラマツソウ |
| ⑤ヨツバシオガマ | ㉓クモマニガナ |
| ⑥ベニバナイチゴ | ㉔シモツケソウ |
| ⑦アオノツガザクラ? | ㉕エゾシオガマ |
| ⑧ナナカマド? | ㉖オタカラコウ |
| ⑨イワカガミ | ㉗シナノキンバイ |
| ⑩クロユリ | ㉘ウズラバハクサン
チドリ |
| ⑪ハクサンコザクラ | ㉙ハクサンボウフウ |
| ⑫ハクサンコザクラ | ㉚ミヤマダイモンジソウ |
| ⑬ハイマツ | ㉛ハクサンシャクナゲ |
| ⑭コバイケソウ | ㉜トラノオ |
| ⑮ハクサンコザクラ
群生 | ㉝ウツボグサ |
| ⑯チングルマ | |
| ⑰ゴゼンタチバナ | |
| ⑱ハクサンフウロ | |

花の検定問題

この報告書(記録)に、今回の白山南竜 PW で見た花の写真に番号を付けて、掲載してあります。その花名リスト(未完成版)は、右の通りである。

問題 A 花名リストを見ずに、幾つの花名を答えられますか

問題 B 穴埋め問題: 花名リストで名前が記載されていない欄に、その花名を記載してください。

問題 C 正誤問題: 花名リストで名前が正しくない場合、正しい名前を記載してください。

お願い

この PW に参加したかどうかに関係なく、この報告書(記録)に眼を触れた方に、お願いします。

- ① 上の花の問題 B、C に、お答え願います。
- ② この報告書(記録)の読後感をお知らせ願います。

答え先: nabeshima2828@nifty.com (鍋島武)

以上で、白山南竜 PW 報告終了です

KU WanderVogel

花の検定問題 模範解答で復習だ

8月15日に発信しました『KUWV 白山南竜 PW2014』第10幕(12頁)に、花の検定問題が載っております。

その問題B、問題Cの模範解答を右に掲載します。

問題B 穴埋め問題：花名リストで名前が記載されていない欄に、その花名を記載してください。

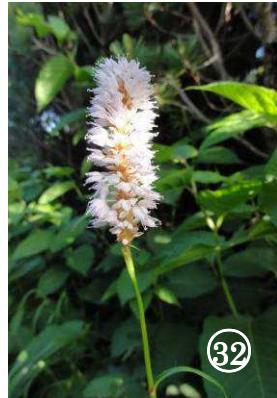
問題C 正誤問題：花名リストで名前が正しくない場合、正しい名前を記載してください。

奥名さんに教えていただきました

奥名さんに、問題B、問題Cにつき、ご教授をお願いするメールを発信しましたところ、折り返しメールが届きました。誠にありがとうございます。

既にこの検定問題に挑戦し、花名の記憶に取り組んでいる方がいます。そして、正しい名前の早期の提示を望んでいます。

そこで、奥名さんのご協力がありましたので、早速、模範解答として発信することにします。みなさん、安心して、覚えてください。これで、間違いを覚える恐れがなくなりましたから。(8月16日)



模範解答

模範解答：下記の吹き出し図に示したもの

模範解答者：奥名正啓先生
KUWV・OBホームページ管理者

《花名リスト》

①カラマツソウ

②ハクサンコザクラ

③クロユリ

④イワギキョウ

⑤ヨツバシオガマ

⑥ベニバナイチゴ

⑦アオノツガザクラ？

⑧ナナカマド？

⑨イワカガミ

⑩クロユリ

⑪ハクサンコザクラ

⑫ハクサンコザクラ

⑬ハイマツ

⑭コバイケソウ

⑮ハクサンコザクラ群生

⑯チングルマ

⑰ゴゼンタチバナ

⑱ハクサンフウロ

⑲ニッコウキスゲ

⑳

㉑ハクサンフウロウ

㉒カラマツソウ

㉓クモマニガナ

㉔シモツケソウ

㉕エゾシオガマ

㉖オタカラコウ

㉗シナノキンバイ

㉘ウズラバハクサンチドリ

㉙ハクサンボウフウ

㉚ミヤマダイモンジソウ

㉛ハクサンシャクナゲ

㉜トラノオ

㉝ウツボグサ

模範解答 ↓

①花だけでは判定不能。モミジカラマツかも

⑦アオノツガザクラで正解

⑧ウラジロナナカマド

㉐ヤマハハコ

㉑ハクサンフウロウ
最後尾の『ウ』不要

㉛ウラジロナナカマド

㉜イブキトラノオ
(由来:寅の尾のにおい。一度お試しを)

㉝タテヤマウツボグサ及びカライトソウ

追補版

第2日目は朝3時から終日、山村さんと鍋島のコンビによる自由ワンデリング。

《行程》 南竜ヶ馬場ケビン（起床3時）→ アルプス展望台（ご来光）→ 展望歩道（お花堪能）→ 室堂（朝食）→ 百姓池 → 大汝峰→ 室堂（後発の大汝峰散策組を待ち合流）→ エコーライン→ 南竜ヶ馬場

二人のワンデリング状況は、既に記載第2幕、第3幕、第4幕、第5幕の通り。



ご来光をねらうカメラマン

朝3時起床、そして重いカメラを担いての急登1時間…だからこそ実現できるシャッターチャンス。『今日のご来光の写真、出来栄えは期待できるぞ』と安堵と満足の顔だ。

ワングル仲間はこの右の男を雨男と呼ぶが、この男を雨男と誰が信じようか。

ご来光を仰ぎ、満足そうなこの顔。世の中の一番の幸せ者はこの俺だぞ…と本人は言いたげだ。



かわいい花を求めて半世紀
今日も俺は行く

はいポーズ。これで良いのだ。

大汝が見ている前では、派手なポーズは不要。



「俺のカメラでは、あの北アルプスの遠景は無理だろうな」それでも撮ってみる諦めの悪さ。

大汝峰に登れば
こそ、撮れるこ
のアングル
右：御前峰
左：剣ヶ峰

(追補版) NewStage60 第152号 名峰白山 南竜ヶ馬場

山行後に各位と交換したメールである。宛先、タイトルなどをカットし、改行等を適宜変更した

from 鍋島武 2014.8.13

山村さん こんばんは

先日頂戴した写真をフル活用しまして、報告書を作っています。添付報告書の最終頁の花名リストとで、難航しています。(略 花名の点検依頼)

from 山村嘉一 2014.8.14

鍋島さん 素晴らしい大作を誠に御苦労さまでした。とにかくザ～ッとななめ読みさせていただきました。後でゆっくり読むのが楽しみです。

花の名前は聞く相手が違うと思います。

(略) ⑥ベニバナイチゴ⑬ハイマツ⑯オタカラコウ

from 鍋島武 2014.8.15 記録・報告書送信

みなさん こんばんは KUWV9期の鍋島武です。

白山南竜 PW の記録・報告を担当させていただきましたが、別添の通り、報告申し上げます。

作成のポイントは、次の二つです。

楽しかった PW の想い出が、加齢とともに忘れ去ってしまうことを、なんとか留めるための材料にしたい。

PW に参加できなかった方が、この記録・報告を眼にした場合、参加者の行動が若干でも理解できるようにしたい。そのポイントを達成できるようになっているかどうかは、自信ありませんが、ご一読願います。

奥名正啓様 加藤忠好様

いつも PW の広報につき、ご協力いただき誠にありがとうございます。本件につきましても、次のホームページ更新の折、長文ですが掲載していただければ、誠に幸いです。

(奥名様、報告文に『花の検定問題』があります。ご教授いただければ、うれしいのですが。)

from 加藤忠好 2014.8.15

鍋島さん

ご無沙汰いたしております。

南竜 PW 楽しく読ませていただきました。合津さんをはじめ、みなさんが元気すぎるくらい元気なので驚かされます。

とりあえず、近畿支部 HP の連絡事項から見えるようにリンクしました。

<http://www.kinki.kuwv.org/index/index.htm>

from 奥名正啓 2014.8.15

鍋島様 奥名です。

時期も上々、天気も上々、メンバーも上々

かつての部誌「bergheim」の原稿を彷彿とさせ、 読みごたえのあるご報告をありがとうございます。

取り急ぎ花名について

①花だけなのでどちらともいえませんがモミジカラマツかもしれません。花だけでは区別しにくい。

⑦アオノツガザクラに?がついていますが、そのものだと思いますので?をはずす。

⑧ウラジロナナカマド (⑩と同じ)

⑩ヤマハハコ

⑪ハクサンフウロ 単に最後のウは不要

⑫ハクサンシャクナゲではなくウラジロナナカマド
高山帯にはタカネナナカマドもあります。

⑬イブキトラノオ 虎の尾の匂いがします。一度体験してみて下さい。

⑭タテヤマウツボグサ ウツボグサの高山型です。
カライトソウも見えています。

from 吉田幸造 2014.8.15

鍋島さん

楽しい記録をありがとうございました。

星座は、1年ぶりに またまた感激しました。近くに 名

称天究館なるプラネタリウムのある星座観測設備があるので行ってみます。いろいろ、触発される機会の多い白山行きは ぼけ防止に役立ちます。

検定問題も 久しぶりの作業でした。22/33で 66%回答でした。もう少し精進します。

⑩はヤマハハコでは、ないでしょうか。

回答は、正しいものだと信じています。間違えたのは、これで覚えなおしていますので花名リスト修正の場合は正解を早い目に提示ください。

from 鍋島武 2014.8.16

加藤さん こんばんは

早速、貴ホームページにリンクしていただき、誠にありがとうございます。加藤さんのスピーディな対応にビックリです。さすが近畿支部の大幹事長ですね。

いつも楽しい行事をたくさん企画されているようで、OBの方も喜んでいらっしゃる事と思います。

from 鍋島武 2014.8.16

奥名様 こんばんは

花の名につき、早速ご教授いただき、誠にありがとうございます。近々、模範解答編を出させていただきます。この解答を皆さんに提示すれば、今回の PW の記録・報告業務は完全に終了となります。

本当に、感謝申し上げます。

from 鍋島武 2014.8.16

吉田さん こんばんは

早速のメールありがとうございます。

⑩のヤマハハコは正解です。

近々、権威ある先生の模範解答編を作成して送信します。

(完全に覚える努力は、今しばらくお待ちください)

何れにしましても、楽しい白山でしたね。

from 島林仁司 2014.8.16

鍋島さん、皆さん、おはようございます。島林です。素晴らしい報告拝見しました。小生の南竜⇒別山の報告はまだ手つかずなので、取りやめにします。

from 保田敦 2014.8.16

鍋島さん 保田です。

表題貴報告の送付有難うございました。今年も参加できない私も楽しく拝見させていただきました。いくつかの貴『NewStage60』を拝読していますが、益々その筆力及び構成のレベルが上がっており、貴方の目的であつた『ボケ防止』は見事に達成されていると思いました。

当方も今年は必ず参加したいと思い、幹事の伊藤さんにはその旨を連絡していましたが、慢性の腰と膝の痛みが完治せず、もし山中で悪化したら、皆さんに多大のご迷惑をかけると思い、今年も参加をあきらめました。しかしその痛みも最近和らぎ、来年までこの調子が続ければと思っています。

from 保田敦 2014.8.16

鍋島さん

貴レポートの末尾に読後感想とありましたので、再メールしました。貴レポートによれば、今夏の天候不順にかかるわらず、今回の PW は天気が良かった由。雨男は誰でしょうか? 貴兄への疑いは晴れたのでしょうか?

伊藤さん

今年の幹事お疲れ様でした。来年も引き継いでいると思いますが、体調よければ参加と思っていますので宜しく。

又来冬の野沢で鍋島レポートに基づいてのプレゼンも宜しく。今後の野沢参加モチベーション低下云々と言っていましたが、芝刈り等で体力向上を図り是非参加宜しく。

中山さん

樺太から帰られてすぐの参加と思いましたが、体力も含めでお元気ですね。

吉田さん

PW途中でお帰りになつた由。相変わらずお仕事が忙しいそうですね。当方も元退職した会社からの委託業務も終わりそうで、益々暇になりますが体力低下に悩んでいます。

白井さん

山靴を新調し、今年は白山の主峰めぐりをされた由、一度鈴鹿の山々のご案内でもお願ひしたく宜しくお願ひします。

from 吉田幸造 2014.8.16

白山では、お世話になりました。一人で帰る時、私のカメラにしては上出来の鳥の写真が撮れました。



だが残念ながら、何の鳥かわかりません。御存じの方お教え下さい。

from 鍋島武 2014.8.17 模範解答送信

みなさんこんばんは KUWV9期の鍋島武です。

昨晩に続き、白山南竜 PW2014 の第2報をご案内申し上げます。昨晩の第1報ご案内後、奥名さんから早速メールを頂戴して、『花の検定問題』の花の名がすべて明らかになりました。

別添のとおり、模範解答をご案内申し上げます。花の名を覚えるのに大いに活用していただければ、幸いです。

奥名正啓様 加藤忠好様

本件につきましても、第1報同様、各々のホームページに掲載していただければ、誠に幸いです。

from 清水一 2014.8.17

こんにちは。 清水です。

鍋島さん

白山南竜 PW (記録・報告と解答) のメールを受け取りました。天気がよい素晴らしいPWをうらやましく思っています。本年は、雨男がいなかつたようですね。記録・報告を楽しんでみています。

ありがとうございます。

from 加藤忠好 2014.8.17

了解&指令業務完了しました。

白山については、上馬さんや奥名さんはいろいろと実質的な貢献大ですね。

from 白井勇 2014.8.17

鍋島さん

『KUWV 白山南竜 PW 2014』ありがとうございます。子供たちのバラバラの帰省が一段落したところで、楽しく拝見させていただきました。「行程高低図」で振り返ることができ、よくぞ歩いたと自分を褒めています。そして 2020 年に向けてその気になりつつあります。今から花の名前を覚えることは難しいとは思いますが、これからも美しい花を愛でたいと思います。まだまだ暑い日が続きます。ご自愛ください。取り急ぎお礼まで。

from 伊豫欣二 2014.8.17

鍋島さん、皆さんへ

天気に恵まれ、伊藤俊名幹事の手配の元、素晴らしい南竜 PW だったと 台風 11 号、12 号に、今度の前線の雨を思うと余計にかんじます。その思い出をまとめて下さった 鍋島さん ありがとうございます。それにしても天気悪すぎです。雨での山の遭難は聞きたくないのに 北アでの遭難。早く良くなつてほしいものです。

from 山村嘉一 2014.8.18

吉田 幸造 様

遅くなり、すでにどなたからか教えられたかもしませんが、お尋ねの鳥の名前は、『ホシガラス』だそうです。知り合いの日本野鳥の会石川支部でお世話している人に教えてもらいました。

以下のようなコメントも頂きましたので、参考になさつてください。

『白山では南竜付近～エコーライン、室堂平などのハイマツ帯でよく見られます。晩夏から秋にかけて、ハイマツの球果を咥えて飛んでいるのを見ることができます。貯食行動です。

この他、白山の高山帯に生息している鳥はイワヒバリ、カヤクグリ、ピンズイ、ルリビタキ、(ライチョウ) などがありますよ。』

以上 山村でした

from 吉田幸造 2014.8.18

山村さん 御回答有難うございました。

私は、鳴き声の悪いとの、ホシガラスでしたが、鍋島新聞に掲載されているウソは、良い鳴き声なんでしょうね。鍋島新聞 TOP の写真を見て、我が家は「お父さんなんで一人だけ窓から顔を出してるん?」との質問。

「あほ! 顔の大きさを見たら、わかるだろ。」とのやりとりでひと悶着ありました。

from 伊藤俊成 2014.8.18

鍋島さん、皆様 伊藤俊成です。

白山では大変お世話になりました。

昨今の天候から見れば、結果的にはありますが本当に良い時期に集まることができたことを喜んでおります。これもひとえに私ではなく、皆様の平素の行いの結果だと謙虚に思っています。

鍋ちゃんの素敵なレポートが、最後の締めくくりを飾ってくれたことに感謝します。

来年は? 分かるわけがありません。それまでは元気でお過ごし下さい。

from 鍋島武 2014.8.18

幸造さん、みなさん こんばんは 9期の鍋島です。

(1) 白山南竜 PW をきっかけに、ワンダーの興味の範囲が、花の名、鳥の名と広がっていくということは、実に素晴らしいことだと思います。

記録・報告書の鳥『ウソ』は、山村プロの撮影。(南竜山荘受付の前で KUWVOB を歓迎して飛び回っていたものだとのこと…既報) 鳴き声は良いかどうか不明ですが、今後の挑戦は、ウソであれ、ホシガラスであれ、声入りの動画でしょうか。

(2) 9期の代表的な紳士の幸造さんから、半世紀の間知りえなかった大発見です。

紳士もご家庭で、「あほ!」というお言葉をお使いですか。我々凡人とあまり変わらない様子ですね。ちょっと安心したかな。

(3) ところで、記録・報告書の1面の集合写真ですが、幸造さんの顔の大きさも考えて入れたのですが、バランス悪いですか。

前日に下山された幸造さんをどのように入れようかと考えたところ、右上に窓があったので、窓から顔を出しているように見立てたものです。

読者には何の違和感も感ぜずに、見ていただければと思っていたのですが、みなさん、注意力が衰えていないようですから、わかるでしょうね。

(4) このような報告書を作っていると面白いですよ。写真の原画にははっきり顔が写っているが、この報告書ではわざわざ顔を隠しているものもあります。さて、どの写真でしょうか。その意図は何でしょうか。

お暇なら、どうぞ検証を。

以上